

工 事 写 真 集

【例】

設置者名

設置場所 筑後市大字

写真（1）【着工前】

- ※ 浄化槽設備士が浄化槽工事業者登録票を持っているところ。
- ※ 施工位置及び全景が把握できること。



施工業者名

浄化槽設備士

写真（２）【 砕石 ・ 栗 基礎工】

※ 基礎厚150mmが確認できること。

※ 厚さが判別できるようにスケールをあてること。



写真（３）【配筋工】ピッチと長さが確認できる写真

※ 配筋全景が確認できること。

※ 鉄筋被り（スペーサー等）が確認できること。



写真（４）【コンクリート打設状況】

※ コンクリート打設中であり、鉄筋が確認できること。



写真（５－１）【コンクリート基礎工】 長さと幅が確認できること。

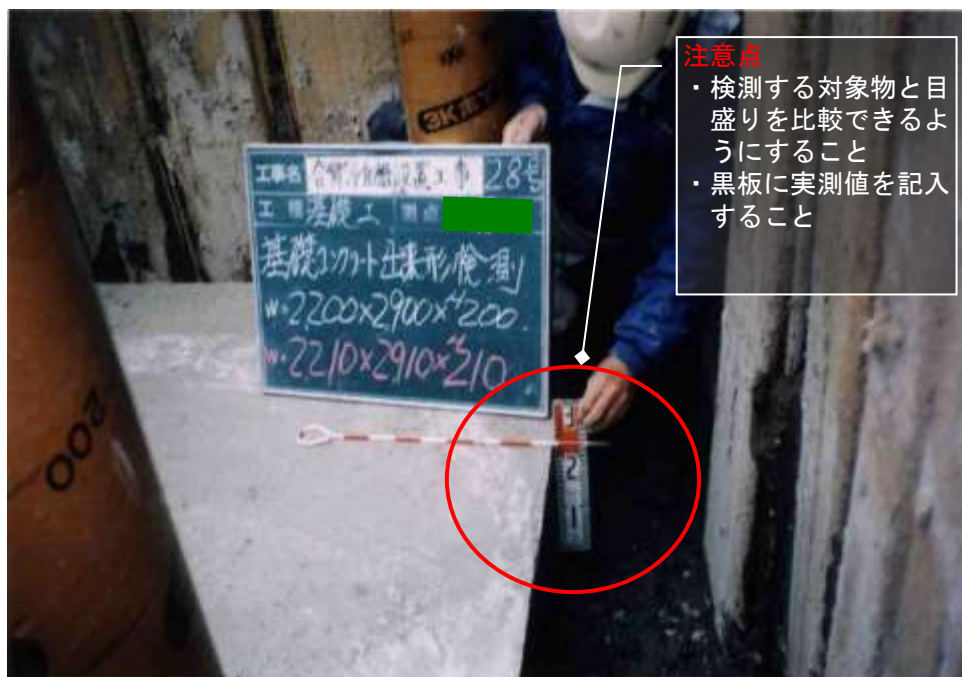
※ 全景が確認できること。



写真（5-2）【コンクリート基礎工】

※ 基礎厚100mm ・ 150mmが確認できること

※ 厚さが判別できるようスケールをあてること。



写真（6－1）【PC板設置】吊り込み前の地上に置いたPC板の写真

※ PC板のメーカー名・型式・寸法・製造番号が確認できること。

※ 長さと幅が確認できること。



写真（6－2）【PC板設置】吊り込みが完了したPC板の写真

※ 全景が確認できること。

※ PC板のメーカー名・型式・寸法・製造番号が確認できること。



写真（7-1）【据付工】

※ 浄化槽の型式及び据付機械が確認できること。



写真（7-2）【据付工】

※ 浄化槽設備士が水張りし、水平を確認していること。



写真（8-1）【埋 戻 工】

※ 検測定規等を置いて、一層の仕上厚が確認できること。

但し、上記施工方法が困難な場合は、別途協議する。



写真（8-2）【埋 戻 工】

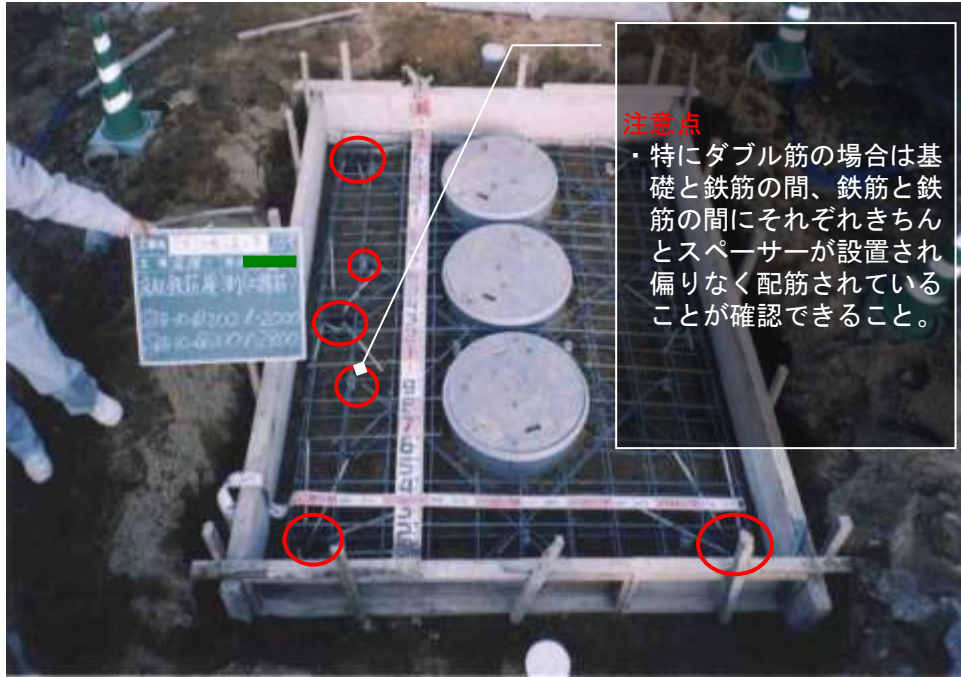
※ 埋戻し完了で浄化槽埋設状況が全景的に把握できること。



写真（9-1）【スラブ配筋工】

※ 配筋全景が確認できること。

※ 鉄筋被り（スペーサー等）が確認できること。



写真（9-2）【スラブコンクリート工】

※ コンクリート打設中であり、鉄筋が確認できること。



写真(9-3) 【スラブコンクリート工】

※ スラブ厚 100mm ・ 150mmが確認できること。

※ 厚さを判別できるようにスケールをあてること。



写真(9-4) 【スラブコンクリート工】 全景写真

※ 長さと幅が確認できること。



写真（10）【嵩上げ状況】

- ※ 嵩上げ高が確認できること。
- ※ 厚さを判別できるようにスケールをあてること。



写真（11-1）【排水設備】

- ※ 配管及び桝据付状況
- ※ 桝基礎が確認できること。



写真（11-2）【排水設備】

※ 埋め戻し前に、配管口径100mm以上が確認できること。



写真（11-3）【排水設備】配管及び柵設置状況

※ 埋め戻し後の配管及び柵設置全景が確認できること。



写真（12）【ブロワー設置状況】

※ 接地工事（アース）が必要な場合は、確認できること。



写真（13）【竣工】

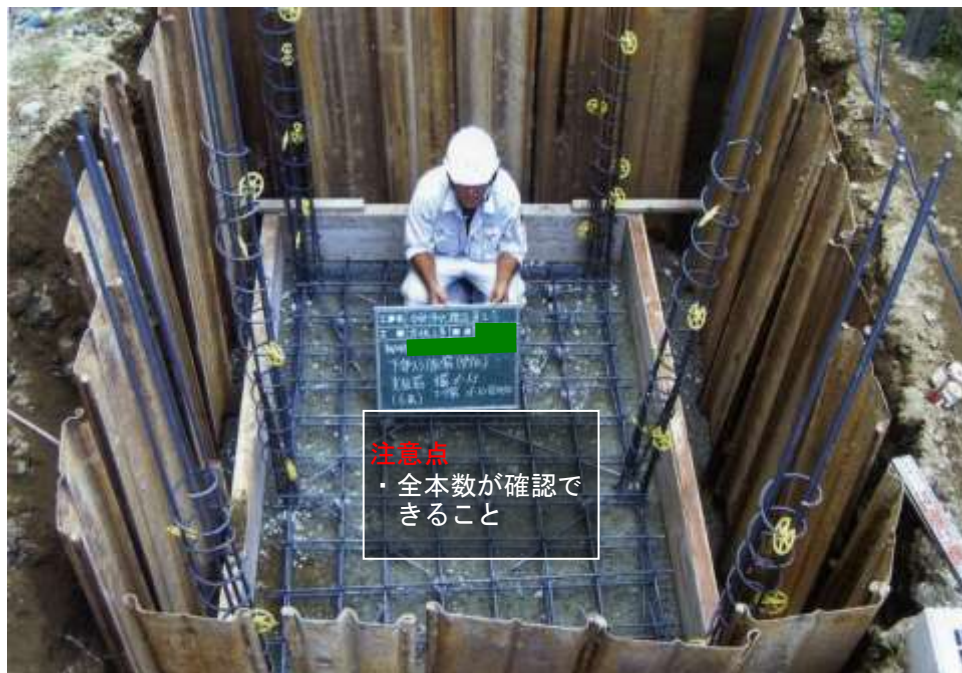
※ 浄化槽設備士が浄化槽工事業者登録票を持っているところ。

※ 浄化槽設置が確認できること。



写真（14-1）【柱筋】

※ 全本数（フープ筋含む）が確認できること。



写真（14-2）【柱筋】

※ フープ筋ピッチが確認できること。



写真（15-1）【その他】

※ 工事で必要な写真または、指摘事項写真

項目：



写真（15-2）【その他】

※ 工事で必要な写真または、指摘事項写真

項目：



写真（15-3）【その他】

※ 工事で必要な写真または、指摘事項写真

項目：



写真（15-4）【その他】

※ 工事で必要な写真または、指摘事項写真

項目：

